

# こうして<sup>ま</sup>る間にも日は暮れる

(冊子版)

yon

有限会社テックピーアール

*TechPR*

※サンプル版のPDFファイルです。

# ま こうしてる間にも日は暮れる（冊子版）

2005年8月10日 初版 第1刷発行（100部限定）

著者： yon

発行人： 中村 友一

発行所： 有限会社テックピーアール

福岡県北九州市若松区大字塩屋 362-26-101 〒808-0131

電話： 093-691-9303 FAX： 093-691-9312

電子メール： contact@techpr.jp

ホームページ： <http://www.techpr.jp/>

表紙イラスト・挿絵： KAKERU

Copyright (C) 2005 by yon/TechPR. All rights reserved.

定価 3,150 円

（本体 3,000 円＋消費税 150 円、全国配送無料、送金手数料などはお客様ご負担）

## プロフィール：

**yon**（よん） … 著者

1979年生まれ。血液型B型。動物が好きで虫が嫌い。阪神ファン。

**KAKERU**（かける） … 表紙イラスト・挿絵作者

1983年生まれ。福岡県出身。血液型O型。趣味：ギター。

現役の学生。有限会社テックピーアール 専属デザイナー。

※一部に暴力的な表現・性的な表現など衝撃的な内容が含まれておりますので18歳未満のお子様の閲覧にはご注意ください。

※本作品は実話を元にしておりますが、作者の個人情報保護のため、また、登場人物など関係者にご迷惑がかからないよう、個人や団体などの設定を変えています。また、ブログ版と冊子版で設定が多少異なります。あらかじめご了承ください。

※本作品は、有限会社テックピーアールが作者 yon 氏の許諾を受け、作者が運営するブログ（インターネットのホームページの一種）で連載された感動の物語（2004年12月09日から2005年07月15日までに投稿された範囲）を冊子版として再編集し、一般向けに通信販売するものです。ブログ版タイトル：「天下取ったり！No. 1への棘の道のり」  
URL：<http://ameblo.jp/yon/> ブログ版では、2005年7月21日より、本冊子版の続編がスタートしています。

※サンプル版のPDFファイルです。

わしには当たり前家族があった。最愛の妹がいた。わしを愛してくれた人も、わしを蔑んだ人もいた。生きるためには汚れるしかなかったさ～！！（ブログ版サブタイトルより）

※サンプル版のPDFファイルです。

※サンプル版のPDFファイルです。

こうして<sup>ま</sup>る間にも日は暮れる（冊子版）

目次

前書き（実在する登場人物S氏）	7
序文	9
第1部：両親は戻らなかった（ブログ版：2004年12月09日～2005年02月13日）	11
第2部：W先生（ブログ版：2005年02月15日～2005年04月19日）	87
第3部：汚れ（ブログ版：2005年04月20日～2005年05月31日）	185
第4部：児童養護施設へ（ブログ版：2005年06月01日～2005年07月15日）	237
解説（中村友一）	294

※サンプル版のPDFファイルです。

※サンプル版のPDFファイルです。

# 第 1 部 : 両親は戻らなかった

(ブログ版 : 2004 年 12 月 09 日 ~ 2005 年 02 月 13 日)

※サンプル版のPDFファイルです。

※サンプル版のPDFファイルです。



2004年12月09日 始まっちゃった・・・

冬だった・・・

12歳だった。

朝起きたら両親がいなくなってたんだ！！

机の上には封筒！

「ごめんね。おばあちゃんの家に行ってね。愛してるよ。」

まったく意味が分からなかった！

あと、お金が！！！！

ひいふうみい・・・

**諭吉っちゃん200枚！！！！**

幼いわしには途方もないお金に思えてびびった！！

両親がいなくなってることより、お金にびびったさ～！！

わしはとりあえず、おばあちゃんの家で電話をしたんだ。

おばあちゃんは名古屋に住んでた。

「父ちゃんと母ちゃんがいねえ！」

「どこ行った？」

「知らん！」

「いまに帰るさ！待っとりやあ！」

切られた・・・

だから待ったよ！

妹は8歳だった。

※サンプル版のPDFファイルです。

スーパーで惣菜を買って、昼飯を食った！

妹はアイスをねだったんだ！

そうだ！日曜だったね！

午後・・・

両親は帰る気配はなかった！

妹は興味もないだろうにゴルフ中継を見てた。

ジャンボ尾崎を見て「後ろ髪長いね。」って笑ってたさ～！

夜・・・

寒いから、妹と一緒に布団で寝たんだ～！！

ウトウトしだした頃、妹が初めて言ったよ！

「パパとママはどこに行ったの？」

2004年12月10日 始まっちゃった・・・・・・・・

わしは困った・・・。  
だってわしも分からんもん！！

「旅行だよ。しばらくは兄ちゃんと二人暮らしだよ。おやすみ」

「分かった！！」

そう言って、妹はしばらくして寝息を立てたよ。

わしの家は県営住宅だった。  
3Kの狭い家さ～！

何も変わった事はなかったよ。  
普通の家庭だった。  
ただ、父親はいつも家にいたよ。

今思えば、仕事がなかったのか、働く気がなかったのか。  
でも、父親は優しく好きだった・・・・・・・・

と思う。。。

母親はスーパーで働いていた。  
母親も優しく好きだった・・・・・・・・

多分。。。

わしはおばあちゃんがあんまり好きではなかった。  
父方の両親は亡くなっていたし、母方の祖父母しか知らないが、おばあちゃんが特に嫌い

※サンプル版のPDFファイルです。

だった！

意地悪で、わがままで、口が悪くて、ケチで、何しろ・・・

臭かった！！

その夜はなかなか寝つけなかったが、まだ両親が二度と帰ってこないなんて思ってなかったから、辛いとか、悲しいとかいう感情はなかったと思う。

とりあえず、わしは妹が大好きだったから、両親が帰ってくるまで二人でがんばろうと思  
いながら寝たんだな～！！

ただ、漠然とイヤ～～～な気持ちはしてたぞ！！

2004年12月12日 あ〜あ・・・

次の日は学校だった！  
その次の日も学校だったよ！

わしは妹と二人で登校して、妹と二人で帰宅した！  
スーパーに寄って、晩ご飯を買って帰るんだ。

妹は両親がいなくなって3日目の夜、夜中に泣き出したよ・・・  
「パパとママは？」

わしはもう、早くも言っちゃったんだ！！  
眠かったせいもあるかな・・・

「二人でどっか行ってしまった」

そう言うと、妹は意外にも泣き止んで、寝たよ。  
わしは逆に寝れなかったさ～。

次の日、わしらは学校を休んだよ。

そんで自分たちの思い当たる場所は全て探してみたんだ！

近所のスーパー、公園、パチンコ屋。バスに乗ってオートレース場にも行ったね！

「ガキが何してんだ！」

なんて、オートレース場のおっさんに怒られたりした！  
妹が泣いたじゃないか！！阿呆！！

「疲れた・・・」

※サンプル版のPDFファイルです。

妹がベソをかいた。  
わしも足が痛かったよ！

次の日は学校に行ったね。  
二学期の終業式だったんだ！

「明日はサンタさんの日だね！！」

帰り道で妹がはじけるような笑顔で言ったから、わしは泣けてきたよ。  
淋しくなった。悲しくなった。  
妹の笑顔が今までで一番、悲しそうに見えたんだ！！

「何をサンタさんに頼むの？」

わしは空を見上げながら聞いたんだ。  
妹の答えはやっぱり、これだけは言わないでくれって言葉だった！  
わしは聞こえないふりをして、石ころを蹴飛ばした！

「パパとママに会いたい」

2004年12月13日 ジングルベル

次の日。

わしは早起きした。

冬休み初日だというのに、8時に起きて、顔を洗ったよ。

外出の準備をしてると、妹が起きてきたさ～。

「お兄ちゃんどこ行くの？」

妹は淋しそうに目をこすったよ。

「友達のとこだよ！夕方には帰るから、家で留守番してて！

チャーハンがあるから、チンして食べるんだぞ！」

妹は黙って頷いた。

わしは両親が置いていったお金を2枚ほど持って家を出たんだ！

バスに乗って、繁華街に出たぞ！！

妹の名前は、ユウカ・・・

目がクリクリしてて、背が低い。

その辺の子役なんかより、全然かわいいんだ！

人形みたいに肌が白くて、髪もツヤツヤでね！！

でも頭が極端に悪いんだ！

I Qが70ほどしかなかったらしいよ！

だから学校の勉強にも付いていけなかった。

友達も出来なかった。

でも誰よりも優しいんだ！

動物と植物が大好きでね！

※サンプル版のPDFファイルです。

わしは妹が大好きだ！  
両親が帰ってくるまではわしが妹を守るんだ！  
って、この頃はそればかり考えていたんだ。

街はクリスマス一色だったぞ！  
少し不愉快な気持ちになったぞ！！

こんなに歩いた事はないっていう位歩き回ったさ～！  
ユウカが喜ぶプレゼントを狂ったように探したよ！  
昼ご飯を食べるのも忘れて歩き回ったんだ！

でも、「パパとママ」以上のプレゼントなんてどこにもなかったよ・・・



2004年12月14日 メリークリスマス☆

4時くらいまで迷ってわしは帰ることにしたよ。

結局、この当時流行ってたゲームボーイと「テニス」を買ったんだ！

(流行ってたって言っても、発売からは2年くらい経ってたと思う・・・)

なぜテトリスじゃないか？

ユウカにはあれは出来ない！無理さ！

あと、デパートの地下で丸いケーキと食べきれないほどのチキンを買って、バスに乗ったぞ！

バスの中では幸せだったね！

ユウカの喜ぶ顔が浮かんだよ！

ユウカの驚く顔が楽しみだったよ！！

「パパとママ」には全然敵わないけどね！

バスを降りて、わしは走って家に帰ったぞ！

「ただいま～！！」

部屋が真っ暗だった・・・。

ユウカがいない・・・。

パ～ン！！！！

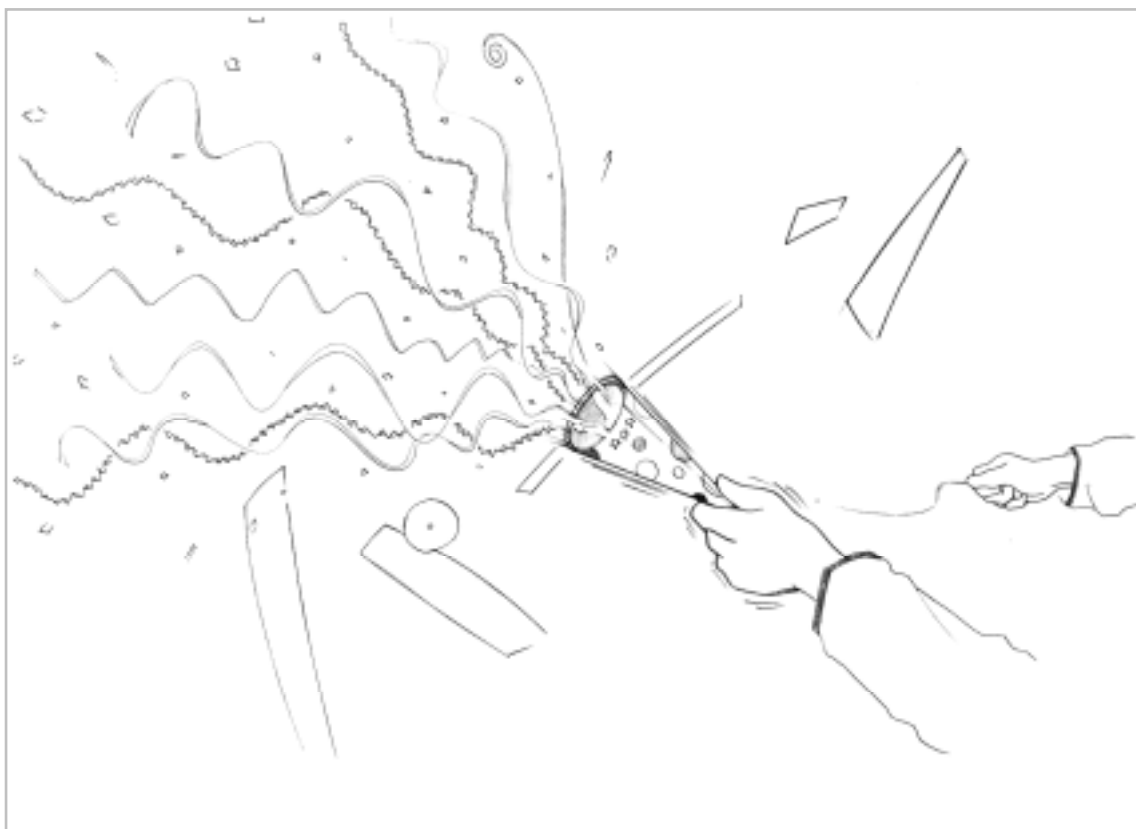
わしは殺されたと思った・・・。

ちびりそうだったさ～！！

頭を押さえてしゃがんでると電気がついて、ユウカが笑ってたよ！

※サンプル版のPDFファイルです。

「メリークリスマス！！」



部屋中に色紙で飾りつけがしてあった。  
押入れから引っ張り出したのか、クリスマスツリーまであったよ。  
壁には画用紙にクレヨンで“メリークリスマス”。

「一人でやったの？」

「うん！」

「クラッカーは？」

「お小遣いで買った！！」

結局わしがユウカに驚かされて、喜ばされてしまったぞ・・・

※サンプル版のPDFファイルです。

2004年12月15日 サンタクロース

「ジングッベー♪ジングッベー♪鈴が鳴るー♪」

もうこの唄ばかり歌われたぞ！

わしは楽しかった～！！

チキンとケーキをこたつの上に広げて、好きなだけ食べたよ！！

ユウカはとても嬉しそうだった！

それが何より嬉しかったんだ！！

チキンは最高だったし、ケーキは少し甘すぎたけど、おいしかった。

「お兄ちゃんおいしかった！！」

「そっか！」

「お兄ちゃん唄歌って！」

「それは、いやだ・・・」

「お兄ちゃんさっきびっくりしすぎだよ！！」

「誰だってびっくりするよ！」

「お兄ちゃんサンタさん来る？」

「早く寝たら来るよ！」

「じゃー、もう寝る！！」

「まだ歯磨いてないじゃん！」

みんなはサンタクロースって信じてましたか？

※サンプル版のPDFファイルです。

わしは小学校 4 年生まで信じてたぞ！

両親はイベント事は本当に大切にしてくれてた！  
と、思う。  
誕生日とかクリスマスとかね！

クリスマスイヴの夜は毎年、ユウカと布団を並べて、枕元に靴下を置いていた。  
朝になると、靴下には入りきらないプレゼントがそこにはあって、本当に最高に嬉しかった！！  
本当に、サンタクロースはいるんだ！って思ってたぞ！！  
しかも当たり前のようにね！！

欲しいものを前日までに書いて父親に渡すんだ！  
で、父親は毎年同じことを言うんだ！

「じゃー、サンタさんに頼んどくからな！」

それがわしは本当に嬉しかった！

「お父さん、スゲ〜！！サンタと知り合いじゃん！」って思って、父親を尊敬した！